

水浴場の環境放射線モニタリング調査結果 (令和4年度第2回目：開設中)について

令和4年8月22日
原子力災害現地対策本部(放射線班)
福島県災害対策本部(原子力班)

県内の水浴場27地点において環境放射線モニタリングを実施し、その結果がまとまりましたので、お知らせします。

記

- 1 調査期日 令和4年7月25日～令和4年7月27日
2 調査地点数 27地点(湖水浴場14地点、海水浴場13地点)
※海水浴場については、今夏開設しないところも調査しています。
3 調査結果

空間線量率は、福島第一原子力発電所事故前における県内の自然放射線のレベルと同程度でした。

また、湖水・海水中の放射性セシウムは不検出でした。海水中の全ベータ放射能濃度は0.01～0.02Bq/L、トリチウムは不検出であり、福島第一原子力発電所事故前の値と同程度でした。この値はWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

(1) 湖岸・海岸での空間線量率

0.03～0.06 μSv/h(地上1m)

※事故前(平成22年度)における県内の空間線量率 0.02～0.13 μGy/h(地上1m)

(2) 湖水・海水中の放射性セシウム濃度

不検出

(3) 海水中の全ベータ放射能濃度(今夏開設している8海水浴場(釣師浜、原釜・尾浜、北泉、岩沢、久之浜・波立、四倉、薄磯、勿来))

0.01～0.02 Bq/L

(4) 海水中のトリチウム濃度(今夏開設している8海水浴場(釣師浜、原釜・尾浜、北泉、岩沢、久之浜・波立、四倉、薄磯、勿来))

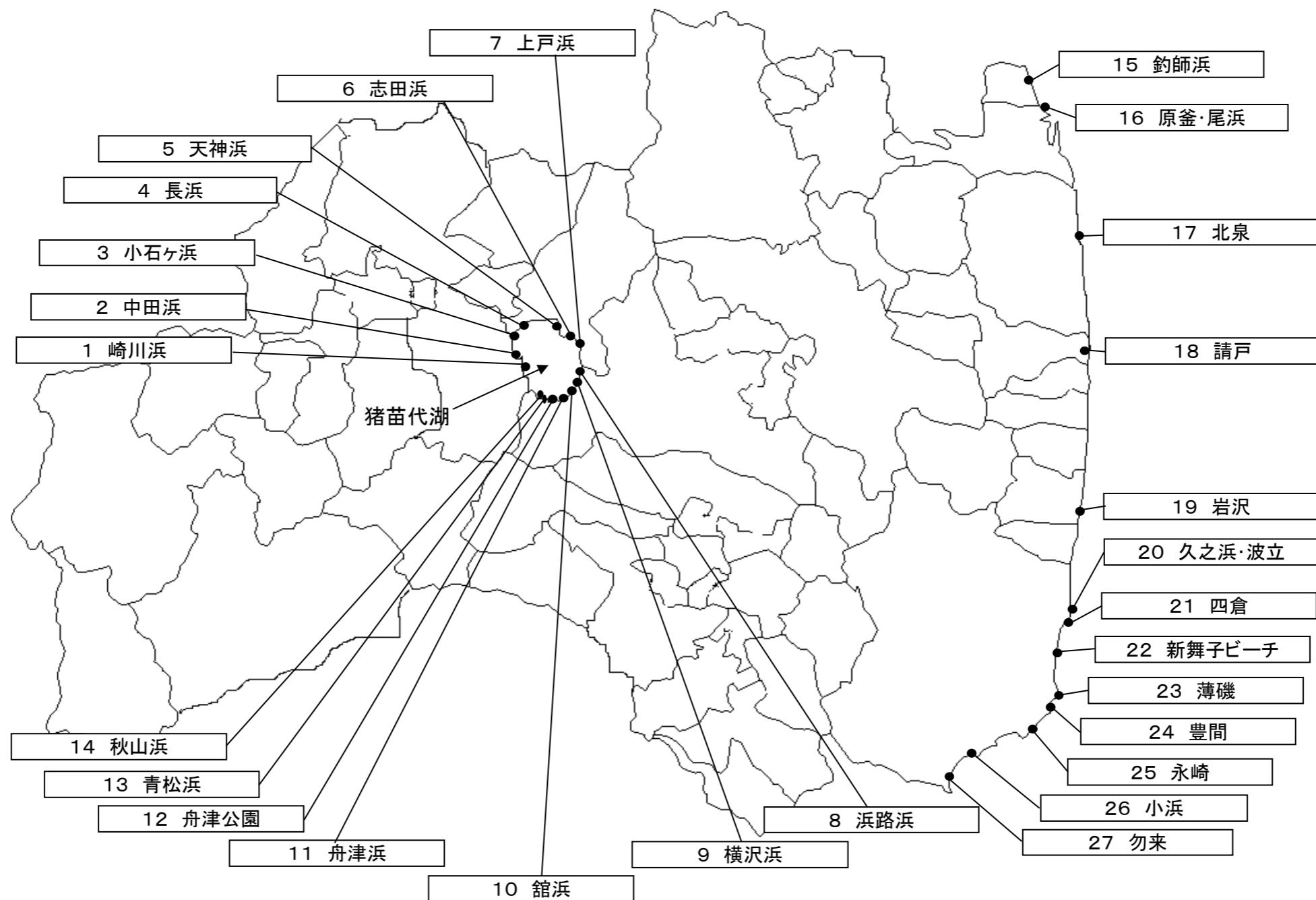
不検出

(参考)	全ベータ放射能 (Bq/L)	放射性セシウム(Bq/L)			トリチウム (Bq/L)
		Cs-134	Cs-137	合計	
水浴場の放射性物質に係る 水質の目安	-	-	-	10	-
WHO飲料水水質ガイドライン	10 ^{**1}	10	10	-	10,000
事故前における県内の 海水中放射能濃度レベル	不検出～0.05	不検出	不検出～0.003	-	不検出～2.9

※1 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

水浴場調査地点

凡例：水浴場名



猪苗代湖調査地点拡大図

